

2019 年度高校向け「文系チャレンジ講座」

目的 高校生向けに大学の学問を平易に紹介し、大学で学ぶ楽しさを伝える（入試広報とは一線を画します）。

受講形態と各回人数 遠隔 100～200 人 来学 0～40 人 対象学年 主として 2 年生

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要
1	5/15（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 林 勇貴	地域のために政府 が行うこととは？ ～ミュージアムを 例に～	みなさんは博物館、美術館に行ったことがありますか？普段からよく利用しますか？ 実は博物館、美術館の約 8 割が国や自治体などの公の組織によって提供されています。 その理由は私たちが住む地域社会をより良くし、私たちの幸せを向上させるためです。 博物館、美術館の他にも、道路や公園など公の組織で提供されているものはたくさんあります。 この講座では、主に博物館や美術館を例に挙げ、なぜ政府が提供しているのか、 そして、私たちの住む地域社会を良くするためにはどのような政府の活動が望ましいのかを皆さんと一緒に考えます。
2	6/5（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	福祉健康科学 部社会福祉実 践コース 工藤 修一	社会福祉へのいざ ない	語源的に社会福祉は、「幸せ」を意味します。そして、すべての人々の幸せが実現された社会を「福祉社会」といいます。しかし、この実現は極めて難しいものです。たとえば障害者の方々との差別解消もそうです。理念や思想レベルにおいて、これに異論を唱える人はあまりいません。しかし、この実現に向けての具体的な取り組みをするとすると、様々な反対意見が生じます。理由のひとつはパレート効率性です（←難しいコトバですが、講義では平易に説明します）。本講義ではこうした構造について扱うとともに、それでもあきらめずに福祉社会の実現を目指そうとする、福祉専門職の活躍についてもふれます。
3	7/3（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 渡邊 博子	中小・ベンチャー企 業のイノベーションと発展戦略	「下町ロケット」や「陸王」、少し前には「タイトロープの女」など中小企業が主役となるテレビドラマが話題となってきました。そのほとんどは、劣勢だった主役がさまざまな苦勞を乗り越え成功していくというあらすじです。また、誰も思いつかなかったアイデアを具現化したり、社会課題を解決したりするベンチャー企業が社会にインパクトを与えています。こうした中小・ベンチャー企業が発展する鍵がイノベーションであり、そこには必ず熱い想いをもったリーダーたちがいます。本講義では、イノベーションの概要を説明した上で、実際にイノベーションに取り組んでいる大分の企業事例を紹介していきます。
4	8/28（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	教育学部 田中 修二	美術（アート）と環 境	みなさんは美術（アート）についてどんなイメージを持っているでしょう。少し縁遠いと感じている人もきっと多いと思います。けれど美術はみなさんの暮らしの中につねに存在していて、その生活を豊かにするものです。さらに環境問題や、過疎化などの社会環境における課題とも、美術は深い関係があります。この授業では、美術の楽しさをお話ししながら、「環境」問題の歴史も振り返りつつ、その美術との結びつきを紹介します。環境に関心のある人、美術に興味のある人、どちらもが新しい視点から考える機会になればと思います。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
5	10/16（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 松岡 輝美	ICT と企業経営	API（アプリケーションプログラミングインターフェイス（Application Programming Interface）の略）とはプログラムの機能をその他のプログラムでも利用できるようにするための規約であり、特定の機能を利用することができる。自社内のプログラム開発を効率化する用途での API 利用は以前から存在したが、近年は、自社で開発・運用しているサービスに外部から連携できるよう、API を公開する動きがみられる。API を公開することにより、あらゆる人や企業の持つサービスと自社のサービスを連携し、自社サービス自体の価値を高めることができる。 本講義では API の公開により具体的にどのような事業や顧客サービスが実現できるのかを事例をあげて説明していきます。
6	11/6（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	福祉健康科学 部心理学コース 岩野 卓	ようこそ心理学の世界へ	心理学というと、「とっても難しそう」とか「ぜんぜん役に立たない」といったイメージを持たれるかもしれませんが、しかし、そんなことはありません。心理学は、とても身近で役に立つのです。授業中の居眠りや、カッコよく（可愛く）見える工夫、部活の人間関係、テスト前になぜか掃除したくなる理由など、心理学を応用することで分かることがたくさんあります。当日はちょっと肩の力を抜いて、気楽な気持ちで心理学を知って頂きたいと思います。
7	1/15（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	教育学部 松田 聡	音楽史を学ぶことについて：ビートルズを例に	「音楽史」とはどのような学問で、それを学ぶことにはどのような意味があるのか、といったことについて、（ベートーヴェンやモーツァルトではなく）ビートルズを例に講義を行います。今から 50～60 年前に活動したビートルズの音楽は、現在も多くの人々に親しまれていますが、音楽史の対象として学ぶことにより、より深く、あるいは広く楽しむことができるようになるはずです。そのことを、録音・映像資料なども用いながら具体的に示していきます。この講義を通じて、何かを「学ぶ」ことの大切さと面白さの一端に触れていただきたいと思います。
8	2/5（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 安田 俊介	「フランス革命」―〈国民〉と〈国家〉の成り立ちについて考えてみよう	十八世紀末に起こった「フランス革命」については、世界史の授業で習った人も多いと思います。ある教科書は、この革命が「国民意識をもった平等な市民が国家を構成するという〈国民国家〉の理念」が成立する契機となった、と説明しています。この講義では、この説明を時間の許すかぎり深掘りしてみます。